

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

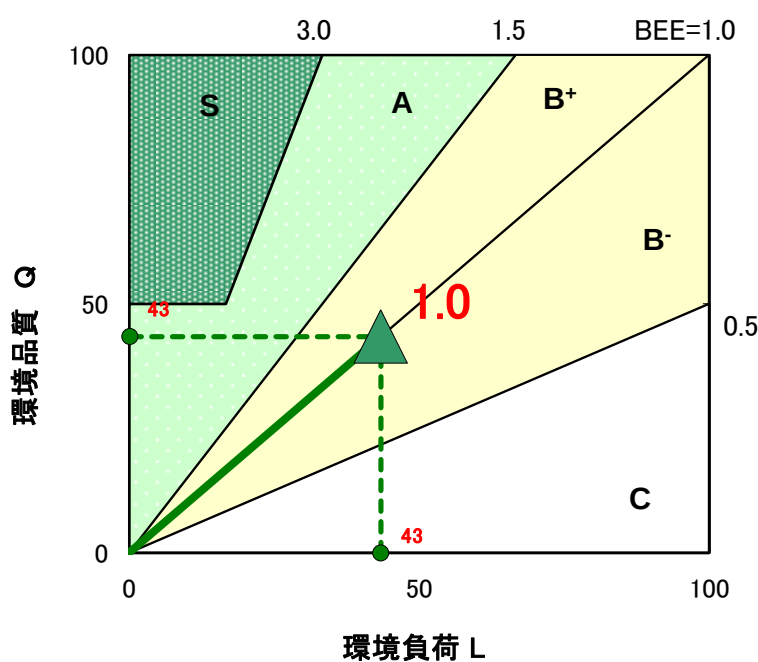
■ 建物概要			■ 外観
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス 清水亀井店	階数	地上 2F
建設地	熊本県熊本市北区清水亀井町177番地	構造	S造
用途地域	0	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2016年1月19日
敷地面積	2,953 m ²	作成者	本田 勲
建築面積	1,510 m ²	確認日	2016年1月19日
延床面積	2,966 m ²	確認者	本田 勲



1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)





■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



BEE = 1.0

■BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30% 以下	★★★★★
30% 超60% 以下	★★★★
60% 超80% 以下	★★★
80% 超100% 以下	★★
100% 超	★

排出率

85%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

75

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】 循環型社会の実現

評価点

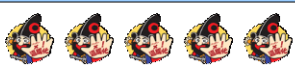
87.5

61.2

67.8

72.7

■熊本県重点評価基準

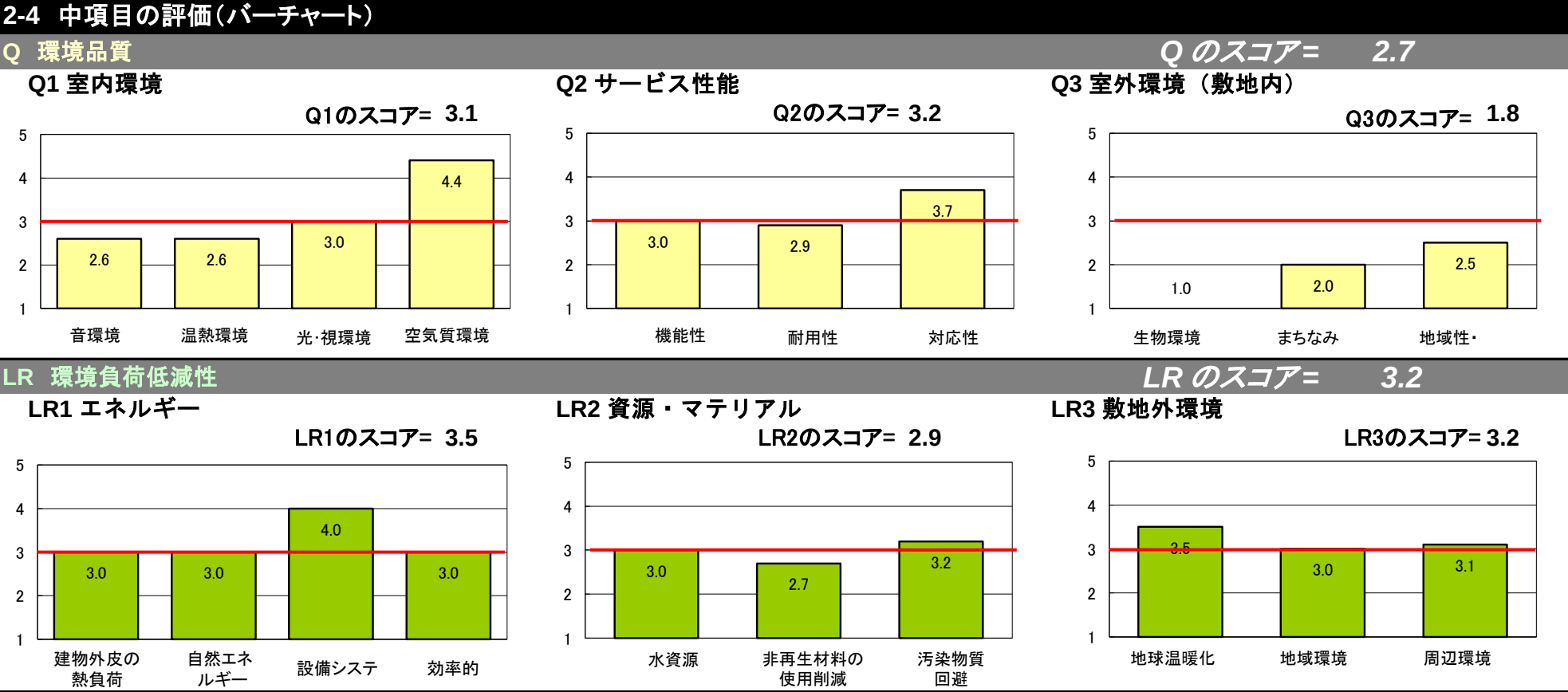
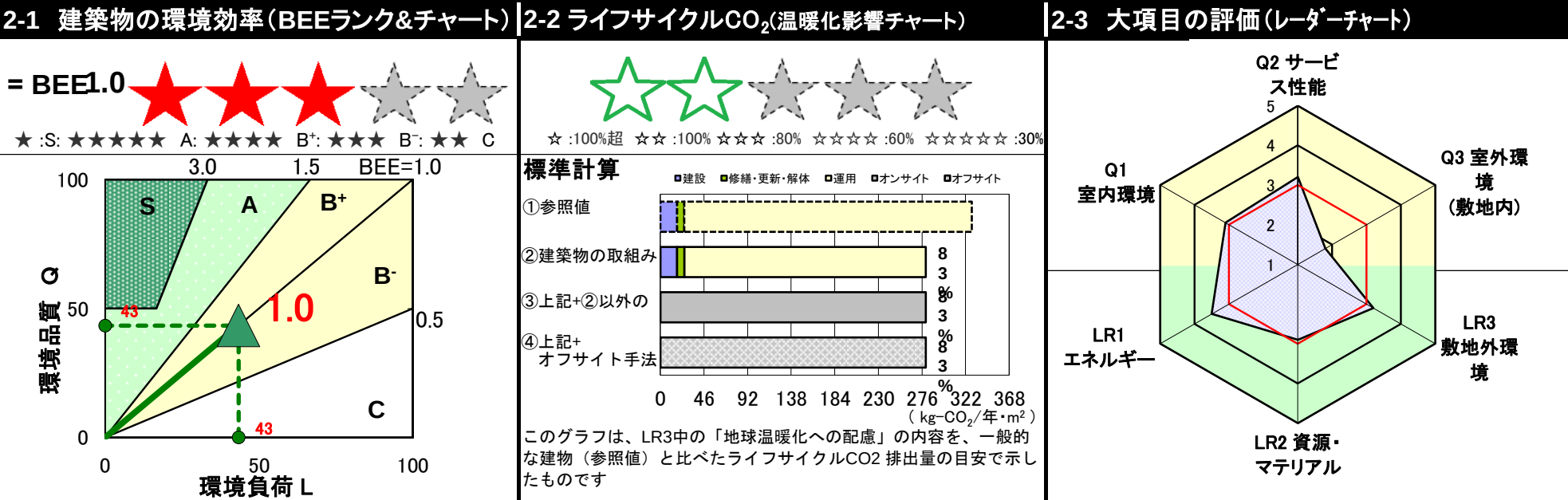
判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドラッグコスモス 清水亀井店	階数		
建設地	熊本県熊本市北区清水亀井町177番	構造		
用途地域	0	平均居住人員		
気候区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	物販店,工場,	評価の段階		
竣工年	2016年4月 予定	評価の実施日	2016年1月19日	
敷地面積	2,953 m ²	作成者	本田 勲	
建築面積	1,510 m ²	確認日	2016年1月19日	
延床面積	2,966 m ²	確認者	本田 勲	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)ドラッグコスモス 清水亀井店			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.36		-	3.1
1 音環境		2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.85	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.15	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.44	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.43	-	-	
1 昼光率		3.0	0.22	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.78	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.11	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.06	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.41	3.0	-	
4 空気質環境		4.4	0.25	-	-	4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.43	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.13	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.43	3.0	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	売場・倉庫ともに室内に禁煙スペースなし	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.12	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.12	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.75	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	売場天井高さ:3.95m	5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	仕上材を傷めないで維持管理が可能	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	軒高さ:9.200m	5.0	0.60	3.0	-		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:231.46+0.00/2965.87＝0.078	5.0	0.40	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-		
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性	天井懐が高く、スペースが確保されている	4.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性	構造部材を傷めないで更新が可能	4.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				－	0.34	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				－	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				－	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.13	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.84 住宅(専有部)	4.0	0.55	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		高効率空調の採用	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)				-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.22	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				－	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		－	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		－	1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.20	-	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
	1	消火剤	屋内消火栓設備の採用	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				－	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			省エネルギー設備の導入	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制	自転車置場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	5.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.50	-	-	
	2	振動		3.0	0.50	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	初期照度補正機能の採用	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

外部負荷を低減するために開口部は必要最低限とした。
外壁の色、配置、夜間の照明・騒音など、近隣への迷惑・公害等が生じないように配慮した。

Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気環境に努めた。

Q2 サービス性能

売場の天井高さを高くし、売場の仕切壁を減らすことで、開放的でゆとりのある空間とした。
EVを設け、2階売場からの出入りがしやすいようにした。

Q3 室外環境（敷地内）

防犯性に配慮した死角のない環境作りに努めた。

LR1 エネルギー

エネルギー効率の良いLEDなどの機器を採用し、エネルギー使用の効率化を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上げが容易に分別できるようにした。

LR3 敷地外環境

注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

(仮称)ドラッグコスモス 清水亀井店

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)			スコア			
① 温室効果ガス排出量削減の推進						
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.09	87.5	0.40	35.00
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.08			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.04			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.09			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現						
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	61.2	0.20	12.24
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全						
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29	67.8	0.20	13.56
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現						
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30	72.7	0.20	14.54
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数